

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	志布志市			代表者名	下平 晴行
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総合政策課	連絡先電話番号	099-472-1111
担当者役職	主任主査	担当者氏名	濱屋 陽子	連絡先E-mail	
住所	899-7192 鹿児島県志布志市志布志町志布志二丁目1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	次期システムの方針策定
概要	現行の行政告知放送システムの更新に向けた、次期システム策定及び各種情報伝達手段の運用変更に関する助言を頂く。また、本市の通信環境や地理的条件に適した情報伝達手段について助言を頂く。		
支援を求める分野	防災		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	693	令和7年11月4日	支援・助言	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月7日	支援・助言(実地)	10時00分	12時00分	
				活動時間（分）	120
2-2. 派遣場所	会場名	志布志市役所本庁		最寄駅	志布志駅
	所在地	志布志町志布志二丁目1番1号		最寄駅からの交通手段	路線バス

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	升屋 正人				
評価	大変良い				
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	現在志布志市で検討中の次期行政告知放送システムについて事前に伝達したところ、当該システムを導入済みの他市の状況について資料を示した上で検討すべき内容の助言がいただけた。これまで継続的に支援をいただいていたこともあり、本市の特徴や課題を把握していただいている中で、これまでの経緯を踏まえた上での提言をいただき、方向性が決定できた。				
アドバイザーへの要望事項	次期システムの本格導入にあたり、今後も事業内容の精査を行う必要があることから、引き続き他市の状況や専門的知見からのご助言をいただきたい。				

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数		3人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	3	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本市では、平成23年までに行政告知放送端末を希望する全戸に無料設置を行い、緊急放送、行政放送等に活用してきたが、端末の老朽化や端末設置費用の一部有償化により新規設置数が伸び悩んでいた。また、ICTの急速な普及に伴いスマートフォンを始めとした情報伝達手段の多様化を受けて、現行の行政告知放送システムに代わる次期システムの検討を行う必要があった。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	将来の効果的な情報伝達手段の検討を行い、多様化する情報伝達手段の中でどのようにシステムを構築すべきかを勘案した上で決定したい。また、そのために必要な関係部署との協議を進め、市民参画型の実証実験を行いながら選定を進めたい。

アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	現在、志布志市では次期行政告知放送システムの候補について実証実験を計画しているが、当該システムを既に導入した他市の状況について情報提供を受けた。また、実証実験の方法や対象者、留意すべきこと等を専門的知見から助言を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	これまでの検討の経緯や実証実験の方について説明し、計画について検討すべきことや留意すべきことについて助言をいただいた。 実証実験においては端末の台数や期間に限りがあることから、旧町から1地区ずつ実証実験のモデル地区を選定して実施することや、実証期間については定期的な一斉放送や大雨や台風が想定される時期を含むことなどが決定した。 また、実証については防災行政無線との連携も視野に入れることとした。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 来年度行う予定の実証実験について、方針が決定した
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください）	来年度の実証実験について予算措置を行う必要があるため、現在の計画案通り実施できるかは年明け以降に確定する。 予算措置の状況に応じて計画の修正等を行う必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（E X C E L や P D F での分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前協議のみのためアンケートは実施していない	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する 実証実験に参加を希望した関係課との連携を行い、市民参画型の実証実験を実施する。
4－4. 事業の最終的な目指す姿	次期行政告知放送システムの導入により、居住環境・世代・ライフステージに合わせた適切な情報発信を実現し、市民の安心安全な生活と利便性の向上を図りたい。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

